

学級だよりから：「第2回心きりり道徳参観日：1年生の授業より」

「1年1組学級だより11/18日より」心きりり参観日、参観ありがとうございました。

心きりり参観日のご参観ありがとうございました。2学期になって初めての参観日は、いかかでしたか？子どもたちは、お家の方々の顔を見るととても喜んでいましたね。

授業では、みんなに発表してほしいのですが・・・少し残念でした。でも、自分がやさしくすることで友だちが喜んでくれること、また、それが自分の喜びになることにも気付いたように思います。最後のワークシートには、「おおかみは、最初いやなことをしていたけど、やさしい気持ちになったからいいな。私もやさしくする。ともだちがよろこぶこと。」「おおかみの気持ちがかわったので私も（友達が）いいことをしていたらまねをしたいと思います。」など思ったことが書かれていました。

これからの生活の中でも友だちの気持ちを考えてやさしく接する姿が少しでも増えたらうれしいですね。

この1-1の授業は「親切・思いやり」を育む学習で、学年が上がるにつれて求められる内容が深くなります。【1・2年生：「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。】【3・4年生：「相手のことを思いやり、進んで親切にすること。】【5・6年生：「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。】【中学生：「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族の支えや多くの人の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。】と進んでいきます。

「1年2組学級だより11/22日より」心きりり参観日のご参観ありがとうございました。

2学期になって初めての参観日でした。子どもたちは保護者のみなさんを見つけると、とてもうれしそうにしていましたね。道徳の授業は「たびにでて」でした。あいさつをめんどくさがるさるのけいたが、あいさつのない島に行き、あいさつのよさに気付き広げていくというお話を通して、あいさつの気持ちよさや大切さに気付けたようです。全員発表とはなりませんが、いつもよりも張り切って発表していた児童が多かったです。

全体発表は、各学年の発表や歌、合奏がありました。1年生も「明日に届け」を頑張って歌いました。

この1-2の授業は「礼儀」を育む学習で、【1・2年生では「気持ちのよい挨拶、言葉づかい、動作など心がけて、明るく接すること。】【3・4年生は「礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心を持って接すること。】【5・6年生は「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心を持って接すること。】【中学生は「礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。】と進んでいきます。

第2回道徳参観日は、全学級が「私たちの道徳」か「ふるさとへの志」の読み物資料を使って学習しました。

上記のように、1年生は視点B：【主として人との関わりに関することについて】の学習内容で、1組は「親切・思いやり」、2組は「礼儀」の学習でした。例えば2組の「礼儀」の学習では、小学校1年生～中学3年生の9年間には発達段階に沿った内容を何度も学ぶこととなります。一人ひとりの子どもが小・中学校で道徳心を学び、義務教育を修了し社会に出た時、どこまで道徳心が身につく実践できるかが課題となります。

道徳教育は、学校・家庭・地域の「力・理解・連携」が必要な学習です。

